令和5年度(令和4年度実施事業分) 主要事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

建設部土木課

建設部長 村瀬 浩之

整理No	主要事業名	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
		自己評価	評価内容	方向性	内容
23-1	道路維持修繕事業 (維持修繕・改修)	C	<p>道路管理瑕疵事故の発生を防ぐため、月ごとの重点項目を定めた定期的な道路パトロールを行うことで、危険箇所や不具合の早期発見に努めた。道路管理瑕疵は、平成21～平成30年度の発生件数が平均3.9件であったのに対し、近年は、令和2年度1件、令和3年度1件、令和4年度2件と平均を下回っているものの、発生の防止に努めていく必要がある。</p> <p>計画的に実施した改修工事3路線のほか、道路パトロールや住民要望等により通行に支障となる危険箇所の修繕工事を実施し、安全性の向上を図った。</p> <p>また、すぐやる隊により、道水路の危険箇所の応急処置や草刈りを始めとする住民要望へ迅速に対応し、市民から一定の評価を得ることができた。</p>	改善推進	<p>危険箇所を早期に発見し、道路管理瑕疵事故を未然に防止するため、道路パトロールの重点項目を見直しながら着実に取り組むとともに、住民要望やマイルポ等に対し、早期に現場確認を行い、緊急性や必要性を踏まえて修繕を実施する。併せて、予防保全のため計画的に修繕を進めていく。</p> <p>また、すぐやる隊については、機動性を活かし、引き続き草刈りを始めとする簡易な住民要望に迅速に対応する。</p>
23-2	通学路安全対策事業	B	<p>学校指定通学路において、学校関係者や警察等と協議しながら、道路側溝の蓋掛けや区画線の路面標示の引き直し等の整備を行い、安全な歩行空間を確保することができた。</p>	改善推進	<p>各学校との合同点検の結果を踏まえ、学校指定通学路の危険箇所の対策を計画的に進め、児童の安全な歩行空間を確保する。引き続き、整備に取り組み、令和5年度には30人から39人の通学路整備を完了する予定である。</p>
23-3	道路環境美化事業	B	<p>市内一円の道路用地の定期的な樹木等管理委託4件と3箇所の防草対策を行い、快適な住環境の創出と安全性の確保を図ることができた。防草対策後には草の繁茂が再発しないよう対策実施箇所の経過観察を行い、必要に応じた改善を行いながら防草効果を継続させる必要がある。</p>	改善推進	<p>引き続き、市内一円の除草等を実施するとともに、定期的な道路パトロールや住民要望等により、新たに除草箇所が確認された場合は、緊急性や必要性を踏まえ対策の可否を判断し、計画的に対策を実施する。</p>
23-4	生見高根線道路改良事業	B	<p>工事着手前から地域住民の関心が高く、開通を望む声が多くあった中、計画通り年度末に供用開始することができた。のぞみが丘周辺の子どもたちは歩道を通行して安全に通学できるようになり、通勤者もアクセスの向上が図られた。</p>	終了	令和4年度完了

整理No	主要事業名	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
		自己評価	評価内容	方向性	内容
23-5	新半田病院アクセス道路改良事業	C	<p>新病院周辺道路については、境界確定測量及び分筆測量を実施し、地権者との交渉が順調に進み、一部を除き必要な用地を買収することができた。また、令和5年度からの新病院建設工事（造成工事は完了）に合わせ、建築部材や重機の搬入に支障とならないよう新病院南側（市道横山1号線）の道路改良工事を進めることができた。</p> <p>阿久比町道については、令和6年度からの工事に向け、名鉄や阿久比町などと協議を進めたが、時間を要してしまい、工事発注準備を早急に進める必要がある。</p>	改善推進	<p>新病院周辺道路の整備を着実に進めていく必要がある。また、アクセス道路の円滑な交通環境を確保するため、関係機関との協議及び進捗管理を行い、令和7年春の新病院の開院に向け道路改良工事を完了させる。</p>
23-6	道路舗装事業（維持修繕・改修）	B	<p>計画に基づく舗装修繕工事6路線と舗装新設要望3路線のほか、住民通報等により確認した通行に支障となる箇所の修繕工事を行い、道路通行の安全性を維持することができた。また、舗装の劣化状況については、通行量などの利用状況により、進行度合いが異なるため、定期的な修繕路線の見直しが必要となる。</p>	改善推進	<p>過年度に実施した路面状況調査や道路パトロール等で把握した劣化状況を反映させた修繕計画の定期的な見直しを図るとともに、予防保全の観点から緊急性や必要性を踏まえ計画的に修繕・改修工事を進めていく。</p>
23-7	橋梁維持修繕事業（維持修繕・改修）	B	<p>乙川中部土地区画整理事業で取り壊すこととなった1橋を除いた23橋の点検を実施するとともに、修繕による適切な維持管理を行うことで、安全性を確保することができた。また、23橋の定期点検を実施する中、簡易的な構造である6橋については、職員により点検を行うことで、コスト縮減を図ることができた。</p>	現状維持	<p>引き続き、定期点検による異常個所の早期発見と計画的な修繕を継続して行うことにより、道路橋の予防保全に努める。点検手法については、新技術の活用を検討や職員による点検を組み込み、コスト縮減を図る。</p>
23-8	水路環境美化事業	B	<p>市内一円の水路用地について、定期的な樹木等管理委託4件と計画的な防草対策工事4箇所を行い、快適な住環境の創出と安全性の確保を図ることができた。また、防草対策実施後は、草の繁茂が再発しないよう経過観察及び端部箇所等のメンテナンスを行い、防草効果を継続させる必要がある。</p>	改善推進	<p>引き続き、市内一円の除草等を実施するとともに、定期的な道路パトロールや住民要望等により、新たに除草が必要な箇所が確認された場合は、緊急性や必要性を踏まえ対策の可否を判断し、計画的に対策を実施する。</p>

整理No	主要事業名	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
		自己評価	評価内容	方向性	内容
課等長	1次評価（令和4年度の総括評価）				
	<p>道路維持修繕事業は、道路管理瑕疵事故発生ゼロを目標として、月ごとに重点項目を定めた定期的な道路パトロールを行うことで、危険箇所や不具合の早期発見に努めたが、2件の管理瑕疵事故が発生した。また、計画路線等の3路線を始め緊急性の高い2路線の道路維持改修工事や、通行に支障となる危険箇所などの修繕工事を実施し、健全な生活道路の維持と安全性の向上に努めた。必要に応じて重点項目を見直しながら、継続的に道路パトロールを実施するとともに、道路維持工事については緊急性や必要性を踏まえて早期な対応に努める必要がある。</p> <p>通学路安全対策事業は、学校指定通学路の整備を実施し、安全性の向上を図った。今後も通学路整備を計画的に実施していく必要がある。</p> <p>道路環境美化事業は、樹木等管理委託4件と防草対策3箇所を実施し、住環境の快適性の向上を図ることができた。防草対策後の経過を観察し、端部等のメンテナンスを適切に行う必要がある。</p> <p>生見高根線道路改良事業は、計画通り年度末の供用開始ができた。</p> <p>新半田病院アクセス道路改良事業は、大部分の用地買収が完了し、令和5年度から本格的に始まる新病院建設工事の支障とならないように新病院南側（市道横山1号線）の道路改良工事を進めることができた。阿久比町道の道路整備については、令和6年度からの工事に遅れを生じないよう進捗管理を行う必要がある。</p> <p>道路舗装事業は、計画に基づく路線など9路線の舗装修繕・改修工事や、住民通報や道路パトロール等で発覚した危険箇所の修繕を実施し、安全性の確保を図った。舗装の劣化については、交通量や利用状況により異なるため、定期的に修繕計画を見直す必要がある。</p> <p>橋梁維持修繕事業は、23橋の定期点検を実施したが、そのうち、簡易的な構造の6橋について、職員による点検を行い、コスト縮減を図ることができた。</p> <p>水路環境美化事業は、樹木等管理委託4件と防草対策4箇所を実施し、住環境の快適性の向上を図ることができた。また、防草対策後の経過を観察し、端部等のメンテナンスを適切に行う必要がある。</p>				
部等長	2次評価（令和4年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項）				
	<p>道路維持修繕事業は、道路管理瑕疵事故ゼロを目指し、適切な道路パトロールおよび予防的な修繕に努めること。住民要望やマイルポは、緊急性や必要性を適切に判断し、早期対応に努めること。安心・安全な生活道路のため、計画的な修繕・改修を実施すること。</p> <p>通学路安全対策事業は、関係機関と協議により、計画的に整備を進めるとともに、通学路点検などにより発覚した危険箇所は、早急に改善を図ること。</p> <p>道路及び水路環境美化事業における防草対策を進め、除草箇所を減らしていくとともに、防草効果が継続するように、必要に応じて対策方法の改善を図ること。</p> <p>新半田病院アクセス道路改良事業は、関係機関との協議を適切に行うとともに、進捗管理をしっかりと行い道路改良工事を遅滞なく完了させること。</p> <p>道路舗装事業は、路面調査や道路パトロールの結果を踏まえ、定期的に修繕計画を見直し、予防保全に努めること。</p> <p>橋梁維持修繕事業は、予防保全の観点から、道路法に基づく定期点検及び点検結果に基づく修繕を計画的に実施すること。</p>				